

平成28年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	桜環境センター余熱体験施設
(2) 施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区新開4丁目2番1号</p> <p>②施設の設置目的 桜環境センターで廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況を体験でき、市民の健康の維持及び促進を図る場として、余熱体験施設を設置。</p> <p>③施設の概要 大浴場、岩盤浴、ウォーキングプール、トレーニングルーム、娯楽室、レストラン、スタジオ、大広間、マッサージルーム</p>
(3) 指定管理者	株式会社エコパークさいたま
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成27年4月1日～令和12年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成26年度 ー円、平成27年度 216,875千円、平成28年度 216,875千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 334,042人(前年度 314,827人) ・稼働率 ー%(前年度 ー%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大浴場 ・岩盤浴 ・ウォーキングプール ・トレーニングルーム ・娯楽室 ・レストラン ・スタジオ ・大広間 ・マッサージルーム <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱体験施設の運営及び清掃
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 216,875千円 (前年度 216,875円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 101,623千円 (前年度 101,526千円) ・事務費 9,001千円 (前年度 9,291千円) ・施設管理費 10,820千円 (前年度 10,799千円) ・事業費 27,663千円 (前年度 28,411千円) ・光熱水費 52,115千円 (前年度 51,026千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>利用者から、浴場内の余語梨乃指摘があったので、点検及び清掃を行いました。</p> <p>水質検査結果について、館内に掲示しました。</p>
(8) その他	<p>利用者アンケートに対しての対応内容について、館内に掲示しました。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
レストラン期間限定メニューの提供	レストランのメニューが、年間を通して同じにならないように、春・夏・秋・冬と4回に分けて限定メニューを提供しております。
施設利用方法の見直し	岩盤浴について、定刻予約入替制から利用者の利用したい時刻から利用開始出来るように利用方法を改善致しました。
サービスデーの実施	年3回、物販の割引、レストラン限定メニューの提供を行っています。また、地域諸団体と協力した催物を実施し、利用者サービスの向上を図っています。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

平成28年度は、前年度の利用者数を上回る年間334,042人の来場があり、前年度以上に職員の確保、オペレーションの見直しなど利用者の皆様のご意見を踏まえながら対策を講じ、混雑緩和、サービスレベルの維持に努めた結果、円滑な施設運営を行うことができた。

具体的には、職員の採用増による接客他人員体制の強化、従業員教育の徹底、業務範囲の見直しなどを行い、利用者の皆様にご満足して頂く環境を提供した。レストランにおいては、適時、メニューや価格の改訂を行うと共に、季節やイベントに応じた特別メニューを提供するなど利用者ニーズに則したサービスを行った。さらに、メニューを見直すことで在庫管理を徹底し、食材破棄の削減にも努めた。

また、利用者の安全確保のため、長湯や飲酒後の入浴回避等の注意喚起を行うと共に、普通救命講習の全職員受講を目指して訓練を実施し、施設内で実際に発生した急病者に対しては、消防署と連携して適切な対応を行った。トレーニングルームにおいては、前年に引き続きインストラクターによる事前講習を実施すると共に、マナーを遵守した適切な利用を促し、利用者の皆様が快適に利用できるよう運営に努めた。

今後も安全、安心、快適な余熱体験施設の運営を継続していきたい。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:環境局施設部環境施設管理課)

総合評価 (B) ※A~D

- ・レストランでの季節ごとの限定メニュー導入等、メニューの改善。
- ・岩盤浴の利用方法の改善。
- ・利用者の安全確保のため、救急救命訓練を全職員受講。
- ・地域諸団体と連携してのイベントの開催。
- ・送迎バスのダイヤ改正。

以上のように、市民への利用促進、適正な維持管理において、成果があったと評価できる。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

稼働から2年目となった今年度は、利用者等からの様々な要望等をその都度対応していったこともあり、利用者数については、増加傾向にある。

今後も、これまで以上のサービスの提供及び安心、安全な管理運営が必要となるので、適切なモニタリングを行い必要な指導をしていく。